

ウレタン
オーデフレッシュU100Ⅱ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

特長

つや有り、7分つや有り、
5分つや有り、3分つや有り、
つや消し[※]から選べます。※つや消しについては、可とう形改修塗材RE、
防水形複層塗材E/REの規格は適用できません。

- ① 高耐久性** 高耐候性ウレタン樹脂に最先端の1液水性反応硬化技術を組み合わせ
当社独自の技術により、すぐれた耐久性を実現しました。
- ② 低汚染性** 親水化技術により外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から建物をまもり、
美しさを長持ちさせます。
- ③ 多彩な仕様** 各種外壁の塗り替えに幅広く適用できます。また各種下塗りを組み合わせ
ることで、躯体のひび割れに対し、抜群の追従性、防水機能を発揮させる
ことができます。
- ④ 防藻・防かび機能** 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- ⑤ オール水性システム** 下塗りから上塗りまで全て水性塗料での施工が可能です。
取り扱いが安全で、低臭です。環境にやさしい水性塗料です。

■標準塗装仕様（塗り替え）

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、清掃する。						
下 塗 り	ニッペパーフェクトフィラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウールローラー
			0.50~0.90			1~5	砂骨ローラー
						2~5	タイルガン [※]
上 塗 り	オーデフレッシュ U100Ⅱ	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー はけ エアレススプレー

※ニッペパーフェクトフィラーをタイルガンで施工した場合ゆず肌になります。

*上記ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。
(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

*上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

*上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

*活膜は、健全な状態であることを想定しています。

*塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

*吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。

*塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

*新設時は下塗りにニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。

《適用下塗り塗料》		《適用下地》(塗り替え改修用)	
外 壁	・パーフェクトサーフ ・パーフェクトフィラー ・DANフィラーエボ* ・水性カチオンシーラー ・アンダーフィラー弾性エクセル ・DANタイル中塗*	●モルタル面 ●コンクリート面 ●窯業系サイディングボード ●ALCパネル面	各種旧塗膜の上

*つや消しは不可

Basic & New
NIPPON PAINTペイントかわら版
読者募集!登 録 無 料
いますぐご登録を。※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form/>

オーデフレッシュU100Ⅱ

塗料性状、荷姿

塗 料 名	色相	つ や	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m ² /回)	塗装方法
オーデフレッシュU100Ⅱ	各色	つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し	15kg	水道水	5～10%	0.14～0.17	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

- ・上記の数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などに相談ください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上り形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッパクリスタコートをおーパーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 著しい結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッパ液浸透シーラー（新）、ニッパ液浸透シーラー、ニッパファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを生じさせることがあります。
- シリンクの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 天井面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製H500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 26.面材のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッパ1材カチオンフィラー、ニッパフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
- 28.内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 29.素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 30.新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッパ液浸透性シーラー（新）、ニッパ液浸透シーラー、ニッパファイン浸透シーラーをお使いください。
- 31.塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 32.塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 33.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 34.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 35.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 36.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッパ パーフェクトNBシールを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッパブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 37.笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートへの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 38.薄めすぎは隠べいか不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 39.上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠べい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。
- 40.調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 41.濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュグリアーを上塗りに塗装してください。グリアーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 42.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 43.はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 44.ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 45.塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 46.汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 47.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 48.可塑性が多く含まれる塩ビシール銅板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 49.平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 50.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 51.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 52.大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 53.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 54.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

オーデフレッシュU100Ⅱ		横倒禁止
1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 3. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。 4. 口をすいでください。 5. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 6. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。 7. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 8. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 9. 眼の刺激が続く場合は医師の診断／手当てを受けてください。 10. 施設にて保管してください。		11. 直射日光や水濡れは厳禁です。 12. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。 13. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。） 14. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。 15. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
※ 上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 ☐ 詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。 ☐ 本製品は日本国内の使用に限定し、輸出される場合には事前にご相談ください。		
警告		危険有害性情報
		強い眼刺激

日本ペイント株式会社

北海道支店	☎011-370-3101	近 畿 支 店	☎06-6455-9608
東 北 支 店	☎022-232-6712	中 国 支 店	☎082-281-2180
関 東 支 店	☎03-5479-3614	四 国 支 店	☎0877-56-2346
北関東信越支店	☎03-5479-3614	九 州 支 店	☎092-751-9861
中 部 支 店	☎052-461-1960		

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-W169
TY181205T
2018年12月現在